

重要なお知らせです。

ご利用者 各位
ご家族 各位

社会福祉法人 福祉楽団

新型コロナウイルス感染症への対応について

みなさまには、日ごろから施設運営にご協力をいただきありがとうございます。
すでにご承知のとおり、当法人の特別養護老人ホーム（ショートステイやグループホームを含む。）では、感染症対策を強化しているところです。
現在、新型コロナウイルス感染症の感染者が急増し、施設運営にも影響が出始めております。以下のことについて、ご一読いただき、みなさまのご理解をお願いいたします。
心配な点や、不明の点があるときは施設相談員まで電話でご連絡ください。

1. 特別養護老人ホームは、感染症が起りやすい環境です

高齢者や障害のある人の介助は密接な接触を生じるほか、認知症や障害などにより、感染症対策についても理解し行動することが難しい人も一緒に暮らしています。これは自宅とはまったく違う環境です。

特別養護老人ホームは、感染症対策に万全を期していたとしても、ひとたび感染症が発生すると、あっという間に、集団感染が発生しやすい環境です。

2. 急病になっても病院に行けない場合があります

新型コロナウイルス感染症に限らず、転倒や急病で救急搬送が必要になった場合でも、すぐに病院に行けない状況が発生しています。救急車を呼んでも、搬送先の病院が決まるまでに、数時間を要することも想定されます。また、病院に入院できなくなったり、すぐに医師の診察を受けられないことがあります。

3. どのような医療を希望するか話し合ってください

新型コロナウイルスに感染すると肺炎が急激に進行し、数時間から数日のうちに死亡する事例があります。高齢者の場合は、明確な症状が出ないことも多く、発熱しないこともあります。症状だけで病気を見極めることは、とても困難です。

病気になったときに、どのような医療を希望するか、人工呼吸器を希望するか、どのような最期を迎えたいかについて、ご家族など親しい人たちと話し合ってください。また、その希望が、現在の社会情勢や福祉楽団のサービスのなかで、どの程度、実現可能かについて施設相談員までご相談ください。

4. 新型コロナウイルス感染症と診断されたときの対応について

新型コロナウイルス感染症と診断された場合でも、福祉楽団では、できる限りの療養環境を提供し、その状況下での最善の医療、福祉的な支援を行います。以下のような急な状況変化にご理解をお願いします。

- ① 居室の変更、介護内容の変更等を、事前の承諾なしで行うことがあります。
- ② 介護職員の負担の軽減や、長期的な療養環境の維持のために、勤務する職員の数を大幅に減らすことがあります。
- ③ 保健所の指示により遠くの病院に入院することもあります。

以上